

< EGA 代表者ご挨拶 >

‘いつでも、どこでも’の標語でなじまれるユビキタス時代の到来は IT 技術の革新によってもたらされました。ソフト産業はその恩恵に浴し、飛躍的成長と発展を遂げてきました。その時代的恵沢が人間教育の分野に今以上にもたらされて欲しいものです。

人間の一生で最も大切な養育期間は生まれてから青春期末までといわれています。その期間における学校教育の役割が最も大きいことは言うまでもありません。しかし家庭と社会が未成年者に与える教育・影響を過小評価してはなりません。親としての成長、社会人としての成長は子供の成長と切り離して考えることはできないからです。特に小中学生の子女を持つ親が学校でわが子の勉強している内容に関心を持つことは大変重要なことです。

もちろん、教育は学校教育だけではありません。家庭・社会一般が子供に与える教育も大切です。また親のほうも、家庭の親として、社会人として、国民としての成長が求められています。従って私たちは成人後も教育を受けることが必要であり、自ら積極的に様々な教育を受けていく努力が求められます。

国内での社会構造の変化に加えボーダレス世界の到来は人間社会に新たな問題を提起しています。これ等の問題をポジティブに受け止め克服していく為には様々な教育コンテンツが必要となっています。‘ゆりかごから墓場まで’、全生涯教育の必要が高まっていると言えましょう。

このようにみると、生涯教育の内容は膨大であると共に必要不可欠といえます。現代社会の発達した情報機器とソフトはそのような生涯教育を後押しできる有効なツールです。

弊社は電子書籍の出版を手がけることによって時代のニーズに貢献したいと願っています。価値あるコンテンツでありながら埋もれている、あるいは未発表になっているケースは膨大に存在していることでしょう。そのようなコンテンツを発表していくことも情報化時代の今日であるからこそ可能になったと思います。

又、日本が世界に発信しているゲーム、アニメ、漫画、等々は世界の人気を博しています。それらの商品や多くの優良な商品を世界市場に積極的に進出させることも弊社の大きな仕事と考えています。

皆様の今後のより一層のご愛顧を賜りたくお願い申し上げます。

2012年3月1日

有限会社 EGA

代表取締役 小林育三